令 和 ２ 年 度 事 業 報 告 書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

少子高齢化が進むとともに労働人口の減少は深刻な問題で、地域社会の担い手として高齢者の果たす役割はますます重要となっています。

このような中で、シルバー人材センターの目的達成のため、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や健康維持、地域社会の維持・発展を図ることなどの諸事業に取り組んできました。

しかし、令和２年度の当センターの事業実績は、会員数の減少や新型コロナウィルス感染症の影響による就業機会の中止等により、前年度と比較して減額の結果となりましたが、年間の収支は若干のプラスとなりました。

今後も引き続き、新規就業の拡大を図るとともに、定期的に入会説明会を開催するなど会員を増やす努力が必要です。

なお、年間を通して、安全・適正就業や会員の資質向上等にも取り組んでまいりました。

（１）安全適正就業の推進

安全・適正就業推進員による会員の就業先への巡回指導を実施し、就業会員の安全適正就業に努めました。

安全委員会においては、事故０を目指して「就業者全体会議」、「植木剪定安全講習会」を開催するとともに、各会議等で安全啓発の時間帯を設け安全就業の徹底に努めました。

① １１月１７日 ： 植木剪定安全講習会を開催し、植木剪定作業の実技をしながら安全意識の高揚を図りました。（９名の参加）

② １１月２０日 ： シルバー就業者全体会議において「安全就業について」の教育を実施しました。（４０名の参加）

③ １２月１８日 ： 長生荘ボランティア清掃時に「安全作業」についての教育を実施しました。（４７名の参加）

（２）財政基盤の安定

シルバー人材センターを運営していくうえで財政面の安定は最も重要な課題です。最少経費で最大の効果が得られるよう諸事業について見直すべきところは見直し、運営に専心しました。

（３）会員の確保

入会説明会を開催するとともに、推進員による会員拡大や会員による声掛けにより、会員の確保を図りました。新規会員として１５名の加入がありました。今年度の会員数は１６２名です。

（４）就業の開拓の推進

推進員による事業所や個人宅を訪問し、一人でも多くの会員にその希望と能力に応じた仕事ができるよう就業機会開拓の推進を図りました。

皆野町から指定管理者の指定を受けている「皆野町老人福祉センター」については、適正な運営を図りました。なお、皆野町介護予防事業（ふれあい広場）の受託事業については、新型コロナウィルス感染症予防のため開催を自粛しました。

（５）会員の資質向上

会員の資質向上のための「シルバー就業者全体会議」において、外部講師を招き講話をいただきました。

（６）普及啓発活動の推進

当センターの広報紙・ホームページ等で当センターのＰＲ活動に努めました。

（７）組織活動の強化

当センターにおいて、会員の組織の活性化は、適正かつ円滑な事業運営を行ううえで不可欠であり、各組織において随時諸事業を展開しました。

総務委員会	センターの普及啓発、各種調査と新規会員の勧誘活動、会員の配分金及び事務費等の検討
安全委員会	会員の就業と安全確保及び事故の防止等
広報委員会	広報紙の編集・作成
農業部会	遊休農地の活用、農地等の維持管理の受託
ふれあい事業部会	ふれあい広場事業の実施
ひまわり福祉部会	ボランティア活動（歌謡健康教室における健康体操）
職群班	職種ごとに必要に応じて職群班の編成及び就業先のリーダー選任
地区委員	地域会員とセンター事務所のパイプ役

（８）社会参加の推進

会員が、次のボランティア活動等へ積極的に参加しました。

期　日	内　　容	場　　所	人 員
12 月 18 日	長生荘ボランティア清掃	老人福祉センター長生荘	４７名